

幸せを創る明日の風景

GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

市長だより

「GREEN×EXPO 2027」まで3年となりました。私たちの生活に大きな影響をもたらす気候変動に着目し、日本で初めての国際博覧会です。圧倒的な花と緑に囲まれながら、脱炭素社会を実現する最先端技術を体感したり、子ども達が遊びを通じて自然を守る大切さを学んだり、健康を支える食と農が共存した生活を実感したり、とすべての世代が楽しめる会場計画とする予定です。「環境と共生し、市民の皆様と共に作る」博覧会、そんな“環共”を感じて頂ける博覧会を目指しています。

GREEN×EXPO開催後の会場跡地には、博覧会のレガシーとして環境にやさしいグリーンな社会を見据えた都市型公園を計画します。また、ひとたび大規模な地震による災害が発生した場合、被災地域の外から救援部隊や支援物資の受け

入れが必要となります。人口の多い横浜での災害時はその際のキャパシティや効率性が特に求められるため、全国から参集した救援部隊を受け入れるベースキャンプ機能や、支援物資の受け入れから分配まで行う拠点機能を有する、本市で初めてとなる広域防災拠点を整備します。あわせて、災害時の支援物資の中継輸送にも資する新たな交通基盤として、会場跡地と東名高速道路を直結させたインターチェンジの整備を計画しています。

人々の環境に関する意識や行動は横浜のGREEN×EXPOから変わったと言われるよう、そして、会場跡地が大規模地震災害時に地域と命を守り抜く基盤となるよう、環境と防災に強じん都市・横浜を目指して引き続き準備を進めてまいります。

横浜市長 山中竹春

横浜市版

16面 能登半島地震から防災を考える

各種手続・窓口案内
市営交通の案内など横浜市コールセンター（毎日8時～21時）
☎045-664-2525 ☎045-664-2828

横浜市コールセンター 検索

区役所の
開庁時間●平日8時45分～17時（祝日・休日・12月29日から1月3日を除く）
※昼の時間帯はお待たせする時間が長くなる場合があります。
●毎月第2・4土曜日 9時～12時
（戸籍課・保険年金課・子ども家庭支援課の一部の業務）横浜市データ
2024年
3月1日現在

人口 3,764,961人

世帯数 1,799,059世帯

横浜市 推計人口・世帯 検索

●4月号は、3月14日時点の情報に基づき作成しています。●開館時間や休みなどは各問合せ先に確認してください。

●収集した個人情報や意見は「個人情報の保護に関する法律」に従い、目的の範囲内で適正に管理・利用します。●令和6年度予算の執行を伴う事業などは、市会での議決後に確定します。

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

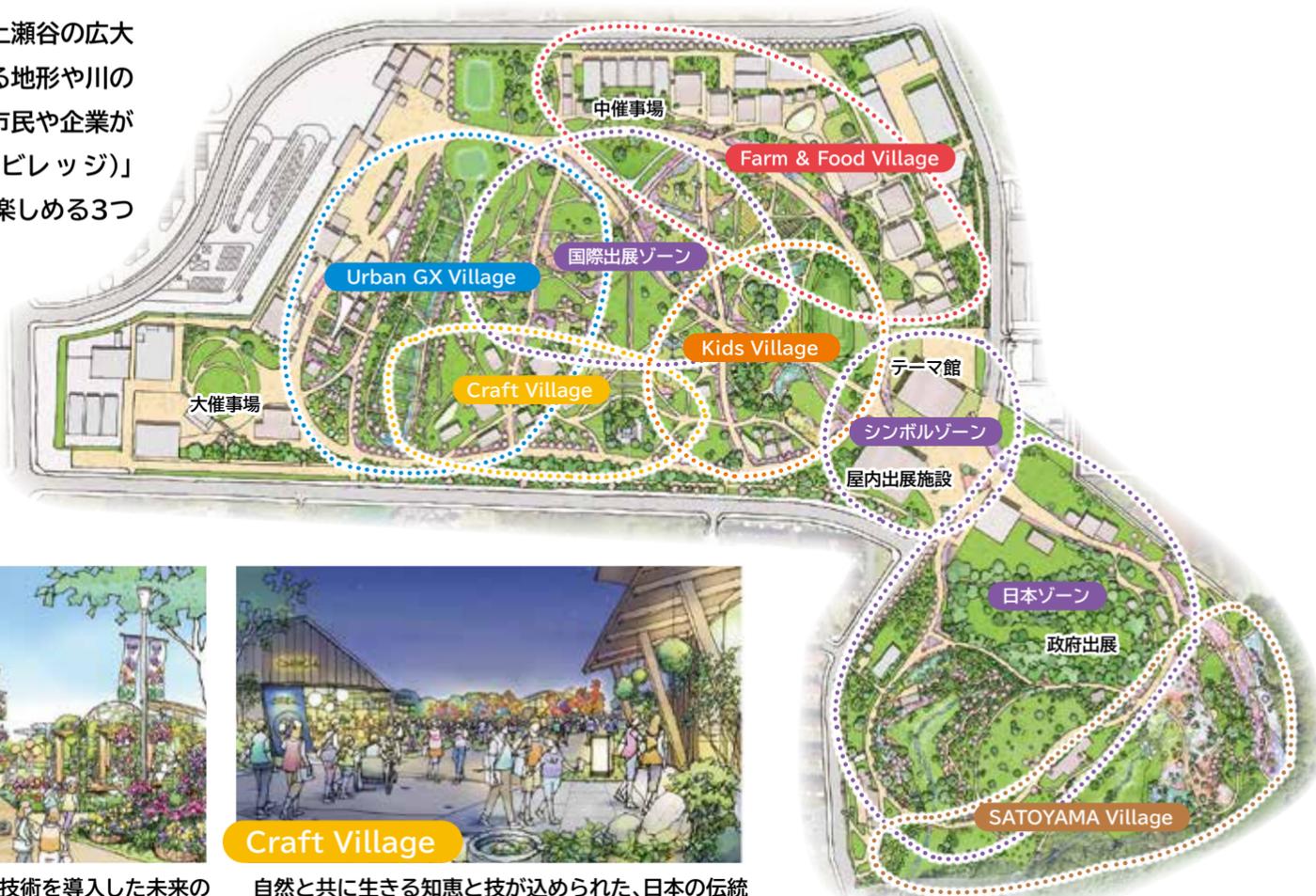
GREEN × EXPO 2027 YOKOHAMA JAPAN

環共 環境と共生し、
皆様と共につくる

横浜スタジアム約28個分、約100ヘクタールの広大なエリア

5つのVillage^{ビレッジ}と3つのゾーン

瀬谷区・旭区にまたがる上瀬谷の広大な里山を舞台に、起伏のある地形や川の源流などの自然を生かし、市民や企業が出展する5つの「Village (ビレッジ)」と、花や緑の美しい風景が楽しめる3つの「ゾーン」を設けます。



Urban GX Village

脱炭素社会を目指して新たな技術を導入した未来の都市像を体感できます。



Craft Village

自然と共に生きる知恵と技が込められた、日本の伝統産業などの温故知新を体感できます。



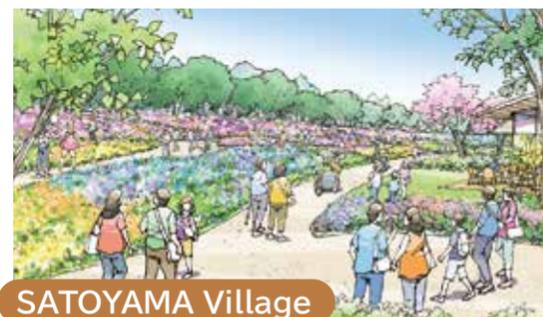
Farm & Food Village

健康を支える食と農が共存した生活と、その豊かさを実感できます。



Kids Village

これからの地球を生きる子どもたちが、遊びを通じて自然の大切さを学べます。



SATOYAMA Village

日本の原風景である里山を体感し、生物多様性の価値を再認識します。

開幕までいよいよ3年

開催期間:2027年3月19日(金)~9月26日(日)

「GREEN×EXPO 2027」とは

私たちの生活に大きな影響をもたらす気候変動に着目した、環境と共生し市民の皆様と共につくる、「環共」をテーマとする日本で初めての国際博覧会です。

自然・人・社会が共に持続するために、地球の限界や脱炭素社会を見据え、「人々の環境への意識や行動は2027年の横浜から変わった」と言われるよう準備を進めていきます。

テーマ「幸せを創る明日の風景」

気候変動などの世界的な課題に対し、“自然の力”、“グリーンのか”で課題を解決し、環境にやさしい未来の暮らしを考え、横浜から世界に発信することが、博覧会のテーマである「幸せを創る明日の風景」につながっていきます。

会場跡地の活用

災害時の広域防災拠点の整備

博覧会の開催後は、「環境」と「防災」をテーマにした公園を整備します。また、本市初の広域防災拠点として、大規模災害時に全国から集まる消防・警察・自衛隊などの応援部隊を受け入れるベースキャンプ機能や、市域の避難所に物資をいち早く送り届けるための拠点機能を持たせます。

新たなインターチェンジ(IC)の整備

広域防災拠点の機能を最大限に発揮するため、旧上瀬谷通信施設地区と東名高速道路を直結する新たなICの整備に向けた検討を進めます。あわせて、日常の交通利便性の向上や、市内経済の活性化を目指します。

市内西部地域全体の新たな交通の整備

市内の西部地域では、南北方向への移動手段が少ないという課題があります。そこで、瀬谷と上瀬谷間での新たな輸送システムの導入や、周辺道路を活用した複数の鉄道路線とつながるバス路線の充実などにより、交通ネットワークを新たに構築し、誰もが移動しやすいまちの実現を目指します。

こんな効果が期待できます

- 公共交通が整備されていない地域の解消
- 子育て世代や高齢者などがより住みやすい
- バスから電車など、公共交通による移動がしやすい
- 公共交通の利用促進による脱炭素化の推進

次世代技術を活用したバスの導入を検討しています

瀬谷・上瀬谷間では、バス専用の道路を整備し、連節バスが最大3台で隊列走行することで、少ない人員でより多くの人々が円滑に移動するためのシステムの構築を目指します。

自動運転・隊列走行技術



問合せ 脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 上瀬谷交通整備課 ☎045-671-4607 ☎045-550-4106
 広域防災拠点について 総務局防災企画課 ☎045-671-4096 ☎045-641-1677

広域防災拠点と新たなICのイメージ



公共交通ネットワークのイメージ



GREEN×EXPO 2027の マスコットキャラクター誕生! 名前を募集します

【応募期間】3月19日(火)~4月8日(月)
 【発表】6月予定



応募ページは
 こちら



特徴・プロフィール

自然や地球との新たな関係を育むコミュニケーター

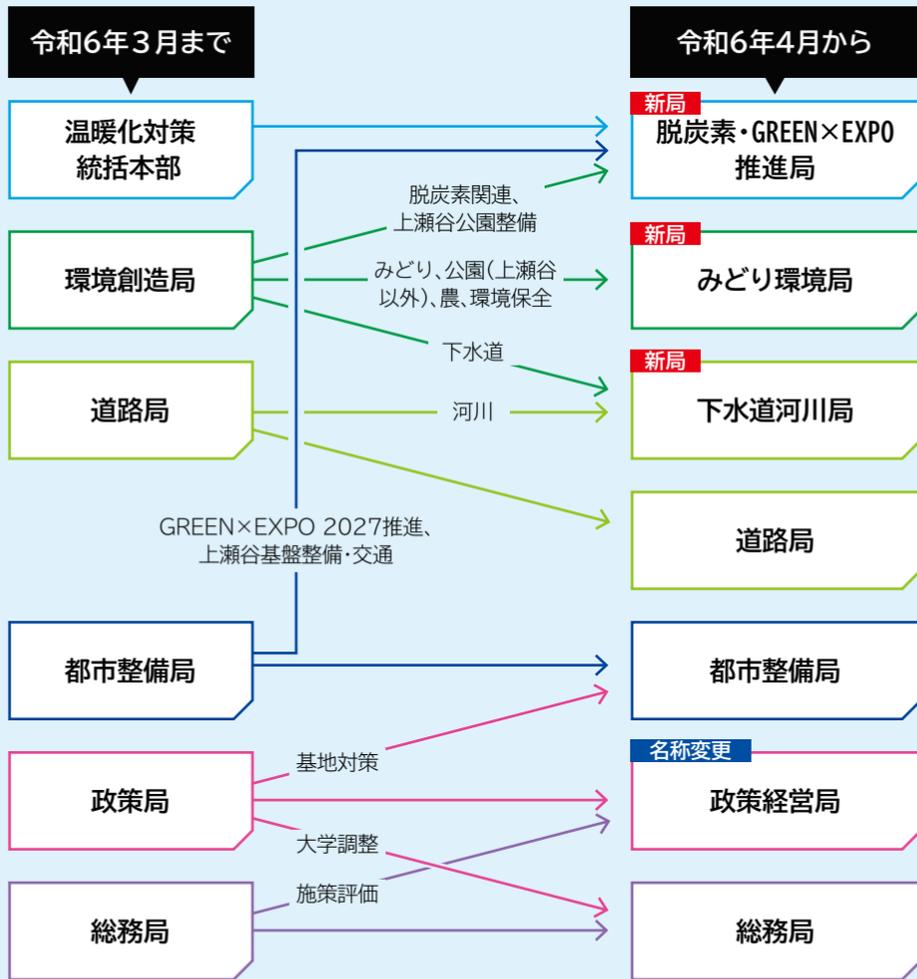
私たちが生きている地球のような姿のこのキャラクター。地球上に生きるすべての植物、生きもののちからを感じとって、その有り様を私たち人間に伝えてくれる存在(精霊)なのです。地球が綺麗だと嬉しくなって花を咲かせたり踊ったりし、汚れると悲しくなって元気がなくなったりします。突然私たちの前に現れたこのキャラクターは、最初は警戒しつつも人間にとっても興味を持っています。

このキャラクターを通して、私たちが今まで知り得なかった自然の「きもち」を私たちは知ることができるかもしれません。私たちと自然の新たな関係を育むチャンスとなるキャラクターです。

問合せ 2027年国際園芸博覧会公式マスコットキャラクター名前募集事務局
 ☎0120-25-2027(月~金曜<祝>・休日除く)9時~17時 ☎EX-11 info@expo2027yokohama-name.jp

4月から市役所の組織が変わります

市民の皆さんからのニーズや政策課題にスピード感を持って対応していくため、組織を見直し、3つの新局の設置と政策局の名称変更を行います。



新局 脱炭素・GREEN×EXPO 推進局

GREEN × EXPO 2027 の開催に向けた準備や機運醸成に取り組めます。また、脱炭素化の早期実現に向けた取り組みを推進します。

新局 みどり環境局

公園やみどりを生かしたまちづくり・にぎわいの創出や、環境を保全する取り組みを推進します。

新局 下水道河川局

気候変動に伴って激しさを増す自然災害に対応するため、下水道部門と河川部門が一体となって治水対策を推進します。

名称変更 政策経営局

持続可能な市政の実現に向けて、データに基づく市政運営を戦略的に推進します。

問合せ 総務局人事課 ☎045-671-2738 📠045-662-7712

※令和6年度の局の設置などに関する内容は、市会での議決後に確定します。

4月1日から 予防接種・感染症に関するお知らせ

1 乳幼児対象の2つのワクチンがまとまった5種混合ワクチンの接種がはじまります



これまで実施している4種混合ワクチンとヒブワクチンのいずれの成分も含む5種混合ワクチンの接種が4月からはじまります。4月1日以降初めて接種する人^{*}は、原則5種混合ワクチンでの接種となります。

※既に4種混合ワクチンまたはヒブワクチンで接種を開始している人は、残りの回数も原則同一ワクチンでの接種となります。

2 小児用肺炎球菌ワクチンにより効果の高いワクチンが追加されます



子どもの感染症の2大要因のひとつである肺炎球菌について、これまでのワクチンより多くの型に対して予防効果が期待できる、15価ワクチンによる接種が可能になります。

【対象者】生後2か月から生後60か月まで

【接種回数】規定の間隔をあけて4回



こどもの予防接種についてはこちら

3 成人用肺炎球菌ワクチンの対象が原則65歳の人のみになります



66歳以上の人に接種機会を提供する経過措置は終了しました。今後は、65歳の人と、60～64歳で指定する障害がある人が対象となります。



成人用肺炎球菌ワクチンの予防接種についてはこちら

新型コロナウイルスに関するお知らせ

感染症/ワクチン接種 コールセンターが終了しました

今後は、救急相談センターや予防接種コールセンターを利用してください。

今受診できる病院・診療所の案内等について

救急相談センター ☎#7119または☎045-232-7119 (ダイヤル回線・IP電話) **年中無休・24時間受付**

令和6年度のワクチン予防接種

詳細は市ウェブページに掲載しています。※情報は随時更新します。



新型コロナウイルス関連情報ページはこちら

はま情報

今月11日以降の、市や外郭団体などが主催・共催の事業を掲載しています
市外局番は「045」です

募集

会計年度任用職員募集中

問合せ等詳細はこちら



中央職業訓練校 訓練生募集

日程等詳細はこちら



市職員(大学卒程度等)募集

日 試験日=6月16日(日)
申 4月23日までにWEBで
問 人事委員会任用課 (TEL 671-3347 FAX 641-2757)

二十歳の市民を祝うつどい 実行委員募集

6月上旬から月1~2回の会議・作業と前日・当日に従事。2004年4月2日~2005年4月1日生まれの人、選考10人。詳細はWEBで
申 5月6日まで
問 教育委員会生涯学習文化財課 (TEL 671-3282 FAX 224-5863)

市営住宅入居者募集

抽選650戸。詳細は4月8日から募集のしおり(区役所広報相談係で配布)かWEBで
申 4月19日まで
問 住宅供給公社 (TEL 451-7777 FAX 451-7769)

福祉・高齢

4月から 障害者手当等の額を改定

- ①児童扶養手当
 - ②特別児童扶養手当(1・2級)
 - ③特別障害者手当、障害児福祉手当、福祉手当(経過的福祉手当)
- 問 各区福祉保健センターか、
①子ども青少年局子ども家庭課 (TEL 680-1192 FAX 641-8424)
②子ども青少年局子ども家庭課 (TEL 680-1189 FAX 641-8424)
③健康福祉局障害自立支援課 (TEL 671-3891 FAX 671-3566)

身体障害者奨学生募集

身体障害者手帳を持つ高校生以上の学生(一部除く)、選考。詳細はWEBで
申 5月27日までに通学校経由で、子ども青少年局障害児福祉保健課 (TEL 671-4274 FAX 663-2304)

人工肛門・膀胱相談・交流会 参加者募集

人工肛門・膀胱保有者が関係者、各当日先着50人

日 4月13日(土)・21日(日)13時30分~16時30分
所 健康福祉総合センター
問 オストミー協会(団体交流室内、TEL 475-2061 FAX 475-2064)か健康福祉局障害自立支援課 (TEL 671-3602)

ぜんそく個別相談

各日先着。①15歳以上、2人②15歳未満、4人。会場など詳細はWEBで
日 ①5月9日・23日・6月13日・27日・7月11日・25日の木曜14時~15時30分
②5月16日・6月20日・7月18日の木曜14時~16時30分
申 4月15日から
問 健康福祉局健康推進課 (TEL 671-3824 FAX 663-4469)

理療臨床公開講座生の募集

あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師免許を持つ視覚障害者、抽選8人
日 5月~2025年2月の木曜、全30回
申 4月22日までにTELで会場の盲特別支援学校 (TEL 431-1629 FAX 423-0284)

養育費セミナー 参加者募集

ひとり親家庭か離婚予定の親、各抽選20人。詳細は①4月1日から②6月3日からWEBで
日 各9時45分~11時45分
①5月21日(火)②7月25日(木)
所 青少年育成センター
保 1歳6か月~未就学児(予約制)
申 ①4月1日~5月14日②6月3日~7月18日にTELで、ひとり親サポートよこはま (TEL 227-6337 FAX 227-6338)
問 申込先か子ども青少年局子ども家庭課 (TEL 671-2390)

シニアボランティア 新規登録者向け研修会 開催

介護施設などで活動すると、寄付・換金可能なポイントがたまるシニアボランティアポイント事業へ参加を希望する人。65歳以上、各先着。詳細は問合せかWEBで
日 各13時~15時
4月16日(火)・22日(月)・5月17日(金)・22日(水)・30日(木)・6月10日(月)・24日(月)・7月4日(木)・12日(金)・22日(月)
所 市役所1階市民協働推進センター・スペース
申 4月11日からTELで事務局(かながわ福祉サービス振興会内、TEL 671-0296 FAX 671-0295)
問 申込先か健康福祉局介護保険課 (TEL 671-4252)

横浜シニア大学 受講者募集

高齢者が健康で生きがいのある生活を送るための知識を学ぶ。60歳以上、各抽選。費用等詳細は問合せかWEBで
日 5月~7月の原則10時~12時
所 各区老人福祉センターほか
申 4月30日まで
問 市老人クラブ連合会 (TEL 433-1256 FAX 433-1257)

講演・講座

教室「関節リウマチの薬物療法」参加者募集

抽選80人。オンライン配信もあり
日 5月21日(火)15時~16時
申 5月17日までにWEBで
問 会場のみなと赤十字病院 (TEL 628-6381 FAX 628-6101)

①依存症家族教室②③依存症回復プログラム 参加者募集

事前申込制。詳細はWEBで
日 ①2025年3月まで。原則、第4金曜14時~15時30分②5月~9月。原則、第1・3水曜14時~16時、全10回③11月~2025年3月。原則、第1・3水曜14時~16時、全10回
所 問合先ほか
問 ころの健康相談センター (TEL 671-4408 FAX 662-3525)

市民後見人養成課程 基礎編 オンライン開催

市民後見人を目指す人か市民後見人の活動や制度に関心のある人。オンライン説明会の視聴必須。詳細はWEBで
日 6月~8月
申 5月24日まで
問 横浜生活あんしんセンター (TEL 201-2009 FAX 201-9116)

障害者パソコンボランティア 養成講座 参加者募集

抽選8人。Windowsで障害者を支援
日 6月6日(木)・7日(金)10時~16時、全2回
所 横浜ラポール
申 5月10日までにWEBで
問 障害者社会参加推進センター (TEL 475-2060 FAX 475-2064)か健康福祉局障害自立支援課 (TEL 671-3602)

貿易実務研修講座 基礎コース 参加者募集

貿易実務未経験者か新任者、先着50人
日 5月21日(火)・23日(木)10時~16時、全2回
所 神奈川中小企業センタービル
費 8,000円
申 4月11日からWEBで
問 横浜貿易協会 (TEL 211-0282 FAX 211-0285)

催し

ザよこはまパレード(国際仮装行列)開催

日 5月3日(金・祝)10時15分~15時。荒天中止
所 山下公園~赤レンガ倉庫~馬車道商店街~伊勢佐木町商店街
問 実行委員会(横浜商工会議所内、TEL 671-7423 FAX 671-0131)



横浜トリエンナーレ招待券プレゼント

抽選5組10人。会期は6月9日(日)まで
申 4月19日までにWEBで
問 にぎわいスポーツ文化局創造都市推進課 (TEL 671-2278 FAX 663-5606)

横浜市民広間演奏会 春の部 開催

日 各12時~12時50分
4月15日(月)~20日(土)・5月14日(火)~20日(月)・6月10日(月)~14日(金)
所 市役所アトリウム
問 事務局(ヤマハミュージック横浜店内、TEL 311-1202)かにぎわいスポーツ文化局文化振興課 (TEL 671-3714 FAX 663-5606)

技文手づくり市開催

手作りのオリジナル作品を販売
日 4月20日(土)10時~15時
問 会場の技能文化会館 (TEL 681-6552 FAX 681-6554)

新しいこと、本といっしょに

子ども向けのおはなし会やおすすめ本の展示ほか。詳細はWEBで
日 4月16日(火)~5月12日(日)
所 市立図書館18館
問 中央図書館 (TEL 262-7334 FAX 262-0052)

お知らせ

令和6年度固定資産税・都市計画税(第1期)①納付期限②納付方法のお知らせ

①4月30日(火)まで。納税通知書は4月上旬発送②スマホ決済、クレジット納付、ペイジー納付、口座振替
問 資産所在地の区役所税務課か、財政局①固定資産税課 (TEL 671-2258 FAX 641-2775)②徴収対策課 (TEL 671-2255 FAX 641-2775)

就学援助制度

市立小・中・義務教育学校へ通学させるのに経済的に困難な保護者へ学用品・修学旅行費などを援助
問 通学校か教育委員会学校支援・地域連携課 (TEL 671-3270 FAX 681-1414)

マンション・団地再生コーディネーター 支援事業

市内の分譲マンション・団地の建替え・コミュニティ形成など将来検討に専門家を派遣。詳細は4月11日からWEBで
申 4月11日からTELで住宅供給公社 (TEL 451-7740 FAX 451-7789)

住民税非課税世帯の人へ

緊急支援給付金 (7万円)

申請期限

5月1日(水) 必着



【問合せ】専用ダイヤル

TEL 0120-045-320 FAX 0120-303-464

粗大ごみは早めに申込みを

インターネット受付 ▶▶▶ 年中無休
受付センター ▶月～土曜(祝休日を含む)
☎0570-200-530または☎330-3953

犬・猫のマイクロチップ装着費用の一部補助

先着450匹。詳細はWEBで
申5月7日から
☎横浜市動物愛護センター(☎471-2111
☎471-2133)

法律等各種専門相談

専門家が対応。予約制(⑦を除く)。休止・変更になる可能性もあり

- ☎12時～13時を除く
①夜間法律=第2・4水曜18時～20時30分
②法律=月～金曜の9時～16時
③司法書士=月～水曜の13時～16時
④宅地建物=月曜10時～16時
⑤人権=水曜13時～16時
⑥公証=第1・3金曜13時～15時
⑦交通事故=月～金曜の9時～16時
申①希望月の初開庁日から②～⑥希望日の1週間前から☎か直接、会場の市役所市民相談室(☎671-2306 ☎663-3433)

若者のための専門相談

不登校やひきこもりなどの悩みを持つ15～39歳とその家族。事前予約制。詳細はWEBで

- ☎月2回、午後
所18区役所。①神奈川・鶴見・中・西・南区②旭・泉・瀬谷・保土ヶ谷区③磯子・金沢・港南・栄区④青葉・港北・都筑・緑区⑤戸塚区
申☎で
①東部ユースプラザ(☎642-7001)
②西部ユースプラザ(☎744-8344)
③南部ユースプラザ(☎761-4313)
④北部ユースプラザ(☎948-5505)
⑤戸塚区役所生活支援課(☎866-8431)
☎申込先か青少年相談センター(☎752-8366 ☎332-5077)

性的少数者向け交流スペース「Friend SHIP よこはま」

心と体の性が一致しない人などが安心して気軽に過ごせる場。詳細はWEBで

- ☎2025年3月まで。13時～14時は10代のみ
①土曜13時～17時
②第3日曜13時～16時30分
所①男女共同参画センター横浜
②男女共同参画センター横浜北
☎市民局人権課(☎671-2718 ☎681-5453)

よこはまLGBT相談

臨床心理士が対応。各先着2人。詳細はWEBで

- ☎2025年3月まで月1回
①月曜の夜間②木曜の午後
所①西区福祉保健活動拠点
②青少年相談センター
申☎でSHIP(☎594-6160、水・金・土曜の16時～20時・日曜14時～18時)
☎申込先か市民局人権課(☎671-2718 ☎681-5453)

もの忘れ検診

50歳以上で認知症の診断を受けたことがない人に認知機能などを問診。詳細はWEBで

- ☎2025年3月31日(月)まで
申☎で指定医療機関
☎健康福祉局高齢在宅支援課(☎671-4129 ☎550-3612)

スポーツ医科学センター施設利用再開

- ①プール②大アリーナ
☎①4月1日(月)から②4月3日(水)から
☎スポーツ医科学センター(☎477-5050 ☎477-5052)

6月から市役所市民協働推進センター夜間閉館時間変更のお知らせ

- 施設の利用予定がない平日は18時閉館。詳細はWEBで
☎市民協働推進センター(☎671-4732 ☎223-2888)

意見募集中の案件一覧はこちら

市民意見募集

- ①開発事業の調整等に関する条例の改正の骨子案
②公園条例の禁止行為に喫煙を加えることについて
資料の閲覧は期間中WEBで
☎①4月17日～5月22日
②4月18日～5月31日
☎①建築局宅地審査課(☎671-2945 ☎681-2435)
②みどり環境局公園緑地管理課(☎671-2642 ☎550-3916)

野外活動施設 夏期抽選会

- 青少年野外活動センター(くろがね・こども自然公園・三ツ沢公園)、赤城林間学園、南伊豆臨海学園
7月21日～8月31日利用分。市内で活動し20人以上で利用する青少年団体等。詳細はWEBで
申4月21日～5月10日に各施設
☎スポーツ協会(☎640-0017 ☎640-0024)

4月から特別養護老人ホーム入退所指針を改正

- 特列入所の要件、入所申込の手続き、主たる介護者である家族の状況の点数・項目の一部等を改正。詳細は問合せかWEBで
☎健康福祉局高齢施設課(☎671-3923 ☎641-6408)

地震に備えて
ブロック塀の除却工事等費用を一部補助します
倒壊による事故発生時は、所有者の責任となる場合あり。危険なブロック塀の除去・新設は、事前相談の上補助金(最大50万円)の申請を。詳細はWEBで
【事前相談の受付期限】10月31日(木)
【補助金の申請期限】12月27日(金)
【問合せ】建築局建築防災課(☎671-2930 ☎663-3255)

施設から

みなとみらいホール

- 「金の卵 見つけました。」演奏会
☎8月9日(金)15時～17時
費2,500円
申5月4日10時から☎かWEBで
☎☎682-2000 ☎682-2023

三溪園

- 重要文化財 月華殿・旧東慶寺仏殿保存修理工事完了記念公開
通常非公開の建物内部を公開
☎4月27日(土)～5月6日(月・休)
費900円
☎☎621-0635 ☎621-6343

環境活動支援センター

- 家族で学ぶ農体験講座
サツマイモなど野菜の植え付けから収穫まで。小学生と家族、抽選30人。費用等詳細はWEBで
☎6月～12月の土曜、全6回。9時30分～12時
申4月30日まで
☎☎711-0635 ☎721-6356

野島青少年研修センター

- 夏期宿泊利用抽選会
7月20日～8月31日宿泊分。市内で活動し20人以上で利用する青少年団体、青少年指導者・育成者団体
申4月15日～5月11日にWEBで
☎☎782-9169 ☎701-9599

よこはま動物園ズーラシア
よこはま動物園ズーラシア周辺道路は、ゴールデンウィーク期間大変混雑します。来園までお時間がかかることが予想されますので、分散来園にご協力ください。

ご自身の保険料額をチェック!

4月から65歳以上の人の介護保険料が変わります

第9期(令和6年度～令和8年度)の基準額(第6段階の保険料額)は、年額79,440円(月額6,620円)に変更となります(第8期は年額78,000円、月額6,500円)。

介護保険料は、本人および住民票上の世帯の課税状況や、本人の前年中の所得金額等により決定します。横浜市の第9期保険料は、国が示す13段階より多い19段階を設定し、所得に応じたきめ細やかな保険料段階とすることで、保険料の上昇を抑制するとともに所得の低い方の保険料を軽減しています。

ご自身の保険料額は、6月下旬に送付する「介護保険料額決定通知書」を確認してください。



- 問合せ 介護保険料について 健康福祉局介護保険課 ☎045-671-4254 ☎045-550-3614
よこはまポジティブエイジング計画について 健康福祉局高齢健康福祉課 ☎045-671-3412 ☎045-550-3613

「よこはまポジティブエイジング計画[2024-2026]」を策定しました

高齢者の保健福祉事業や介護保険制度、認知症施策の総合的な計画として、3年ごとに策定しています。歳を重ねても自分らしく暮らせるまちを目指して、計画に基づき高齢者福祉施策を推進していきます。計画書はウェブページからダウンロードできるほか、市役所3階市民情報センター・区役所等で閲覧できます。





海、港、緑、歴史、地域、人々、さまざまな魅力を持つ都市横浜。この街の彩りを「よこはま彩発見」としてお届けします。今回は3月15日にリニューアルオープンした横浜美術館(西区)についてです。

ウェブ版では
抽選で
読者プレゼント
あり

さらに
詳しい話は
こちら



新生・横浜美術館に乞うご期待

横浜美術館 副館長・主席学芸員 柏木 智雄

1989(平成元)年に開催された横浜博覧会をご記憶でしょうか? 横浜美術館は、この博覧会のパビリオンの一つとしてお披露目され、同年11月に正式開館しました。

構想の段階から、国際的な美術交流の場、鑑賞と創造の場、美術情報センター、写真の収集、市民の美術活動の育成と発展を骨子とする横浜美術館の五つの理念が掲げられました。日本を代表する建築家・丹下健三が設計した建物は、この基本理念を具体化すべく、向かって右側に創造の場(アトリエ)、左側に美術情報センター(現美術図書室)、そして中央の横長の部分に鑑賞の場(展示室)が設けられたシンメトリー(左右対称)の構造を特徴としています。博覧会が終了し、美術館が正式に開館した後も、みなとみらい21地区では工事が続き、ダンプカーの往来で土ぼこりが舞う中でお客様を案内したこともありました。

みなとみらい21地区の発展を見守ってきた美術館は、開館30年を経て、2021年から大規模改修工事のため休館してきましたが、昨年11月に竣工しました。

現在「第8回横浜トリエンナーレ」の会場となっており、「こどものアートひろば『はらっぱ』」などどなたでも楽しめる企画も実施しています。

閉幕後はコレクションの搬入などを経て、今年11月から順次オープンしていきます。新生・横浜美術館では、美術図書室が移設され、グランモール公園「美術の広場」から直接

出入りできるようになります。その図書室の前には新しいギャラリーも増設されます。ショップ、カフェも新装開店。アトリエも設備が更新され、さらに充実した活動を展開します。エントランスのグランドギャラリーには、お子さま向けのスペースが新設されるほか、新しい椅子やテーブルがふんだんに用意され、誰でも自由にくつろぐことができます。どうぞご期待ください。



▲横浜美術館外観(撮影:新津保 建秀)

横浜美術館

【交通】みなとみらい線「みなとみらい」駅下車、徒歩3分。または、JR根岸線・市営地下鉄ブルーライン「桜木町」駅下車、徒歩10分

「第8回横浜トリエンナーレ」
6月9日(日)まで開催中



問合せ 横浜美術館 ☎045-221-0300 ☎045-221-0317

横浜を走る、世界が変わる。

横浜マラソン2024 ランナー募集

【種目】フルマラソン、ペアリレー、みなとみらい7kmラン ほか

【募集期間】4月10日(水)~5月15日(水)

【エントリー詳細】公式サイトを確認してください。

問合せ 横浜マラソン組織委員会事務局(月~金曜10時~16時(祝・休日除く)) ☎045-651-0666 ☎045-226-5037

【開催日】
10月27日(日)



詳しくはこちら



広報よこはまPlusでは、横浜マラソンの魅力などについて紹介しています。



日本最大級の園芸イベント

横浜フラワー&ガーデンフェスティバル2024 開催

100人100通りの園芸の楽しさを体感してみてください。

【開催日】5月3日(金・祝)~6日(月・休)10時~17時(6日は16時まで)

【会場】パシフィコ横浜 展示ホールA・B(西区みなとみらい1-1-1)

【チケット】前売券1,500円、当日券1,800円、中学生以下無料

楽しいイベントが
いっぱいです!

!!!
ステージ



三上真史

園芸トークショー



ローラン・ボーニッシュ

デモンストレーション

バラの街・横浜から
トレンドのバラを
一挙紹介



マハネ



ボム



ニルヴァーナ



詳しくは
こちら

!!!
他にも
いろいろ!

- 有名ガーデナーによるショーガーデン展示
- 最新のバラなどの苗を販売
- ジャパンセレクション~新品種の展示と人気投票~
- 職業体験、たねダンゴづくりなどのワークショップ
- GREEN×EXPO 2027 PRブース

問合せ NTTハローダイヤル ☎050-5548-8686(毎日9時~20時 6月10日まで) ☎045-550-4093

能登半島地震から防災を考える

横浜市は、石川県輪島市・志賀町・珠洲市等に横浜市職員を延べ1,404人(3月14日現在)を派遣し、さまざまな支援を行っています。被災地に赴いた職員より、現地の様子や日頃の備えについてお伝えします。

被災地派遣職員の体験より

痛感した、水の大切さ



水道局給水サービス部
洋光台水道事務所
石井和宏

石川県輪島市・志賀町で、福祉施設や避難所の受水槽や給水タンクへ給水車で水を運搬しました。道路は亀裂や段差が多くあり、周辺の家屋が多く倒壊していて、運転が大変でした。

現地はライフラインが長く断絶し、想像以上に厳しく、苦しい状況でした。有事に備え、ご家庭で1人1日3リットル、3日分で9リットルの飲料水の備蓄を必ずお願いします。使った分だけ新しく買い足すことで、常に一定の量を備蓄しておくローリングストック法がおすすめです。

また、給水時には、取っ手付きの飲み口の大きなペットボトルや非常用給水容器があると早く水を入れられ、持ち運びも楽です。

10リットルの水を入れるのに、大きい口だと約30秒ですが、2リットルのペットボトルのような小さい口だと約2分かかります。ぜひご準備ください。避難所では、被災者の方が給水や洗濯などで譲り合い、助け合う場面を多く見かけました。日頃からの地域のつながりが、有事の際も非常に重要だと感じました。



▲給水車に水を入れる様子

基本的な備えをしっかりと



保土ヶ谷区福祉保健センター
高齢・障害支援課
保健師 二階堂紀子

石川県珠洲市で、被災された方への健康相談、避難所の衛生対策などを行いました。上下水道が使えず、飲料水は定期的な配給を待ち、生活用水は雨水や山の水を使用するという困難な状況でした。長引く避難生活から「いつ仮設住宅に行けるのか」「これからの生活はどうなるのだろう」と大きな不安を抱える方、在宅でも精神的ショックや怪我で心身のケアが必要な方が多くいらっしゃいました。

被災地で支援をする中で、水や食料の備蓄、家族間の緊急連絡先の共有など、基本的な「備え」の大切さをあらためて体感しました。また、日頃から地域の防災拠点の訓練に行き、避難時の状況を疑似体験すること、地域の人と気軽に話せる関係をつくることも、有事の際に心強い支えになることを感じました。

また、持ち出し品として「お薬手帳」をご準備ください。かかりつけの医院・薬局が営業できなくなってしまう、別の病院に行くことになるケースもあります。有事の際、すぐ持ち出せるようにしてください。



▲健康確認を行う様子

問合せ 被災地支援について 総務局危機管理課 ☎045-671-2171 ✉045-641-1677
水道局職員の派遣について 水道局総務課 ☎045-671-3106 ✉045-212-1155
保健師の派遣について 健康福祉局福祉保健課 ☎045-671-4069 ✉045-664-3622

市政へのご意見・ご提案

手紙

「市民からの提案」と明記し、居住区の区役所へ。市役所や区役所、公共施設に専用封筒もあります。

インターネット

市民からの提案 検索

横浜市LINE公式アカウント

市・区からのお知らせを受け取れるほか、図書館の蔵書検索や道路の損傷通報などのサービスを利用できます。



広報よこはまをアプリやウェブで

広報よこはま市版は無料アプリ「カタログポケット」で閲覧できます。音声読み上げや多言語に対応しています。



広報テレビ・ラジオ番組(レギュラー放送のみ)

テレビ	ハマナビ	tvk 18:00~18:30
	YOKOHAMA My Choice!	FMヨコハマ 9:30~10:00
ラジオ	Public Service Announcement	Inter FM897 12:55~12:58